

衛 研 第 3 - 3 号
平成28年 4月20日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0493-59-9325
F A X 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 15 週（平成 28 年 4 月 11 日～平成 28 年 4 月 17 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から二類感染症（結核を除く）、三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、急性脳炎 1 人、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**流行性耳下腺炎**(0.97 0.83：図 1)の定点当たり報告数は、前週と比較し減少したが、非流行期であった 2012～2014 年に比べ多い状況が依然続いている。保健所別では、秩父、本庄保健所を除く県内 14 保健所管内から報告があり、草加(1.91)、幸手(1.78)保健所管内からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.05 2.21：図 2)の定点当たり報告数は、前週と比べ微増した。保健所別では、東松山(2.00 3.80)保健所管内で大きく増加し、熊谷(4.00)、川越市(3.75)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4～7 歳で全体の 53.1%を占め、4 歳の 50 人が最も多い。**インフルエンザ**(4.84 3.09：図 3)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少した。保健所別では、未だ全保健所からの報告があり、鴻巣(7.00)、越谷市(5.46)、東松山(4.25)保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**(0.19 0.27)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、春日部(0.00 1.00)保健所管内で大きく増加し、草加(0.64)、越谷市(0.63)、鴻巣(0.58)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 14 人の報告があり、流行性角結膜炎は前週(22 人)より減少した。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 4 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 4 人、**インフルエンザ(入院)** 5 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	レジオネラ症	1 人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人（病型 腸管アメーバ症）
	急性脳炎	1 人（病原体 不明）
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 人（病型 孤発性）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	1 人（病型 早期顕症 期）

1 この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/nid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図 1 流行性耳下腺炎

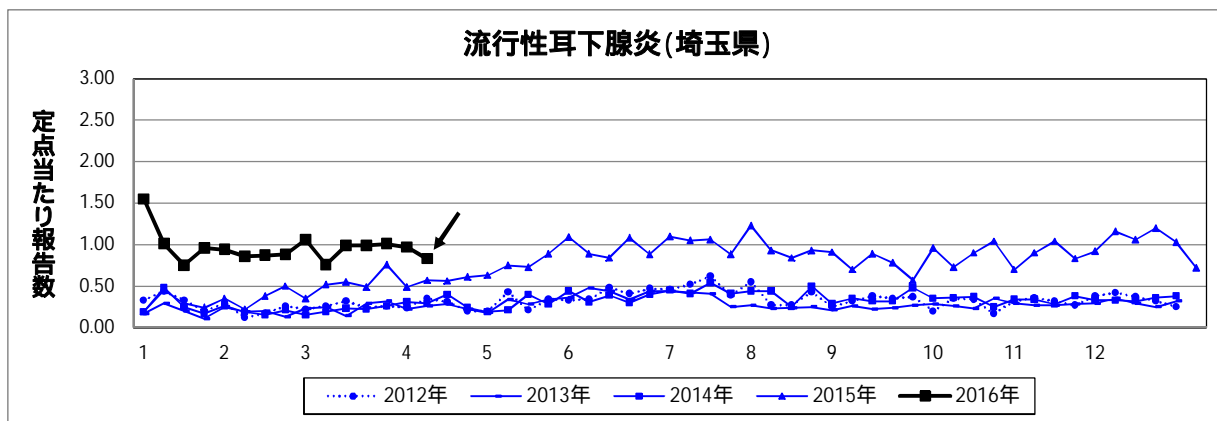


図 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

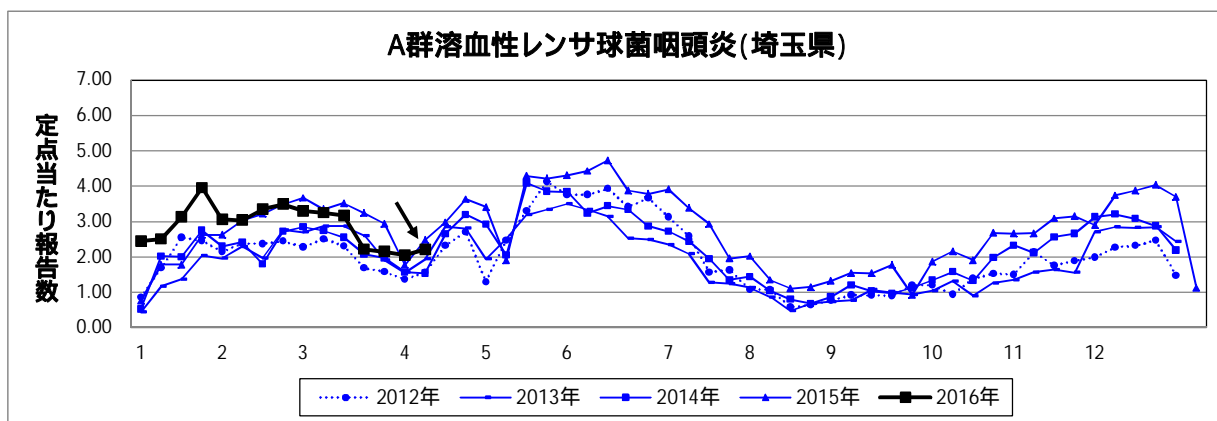
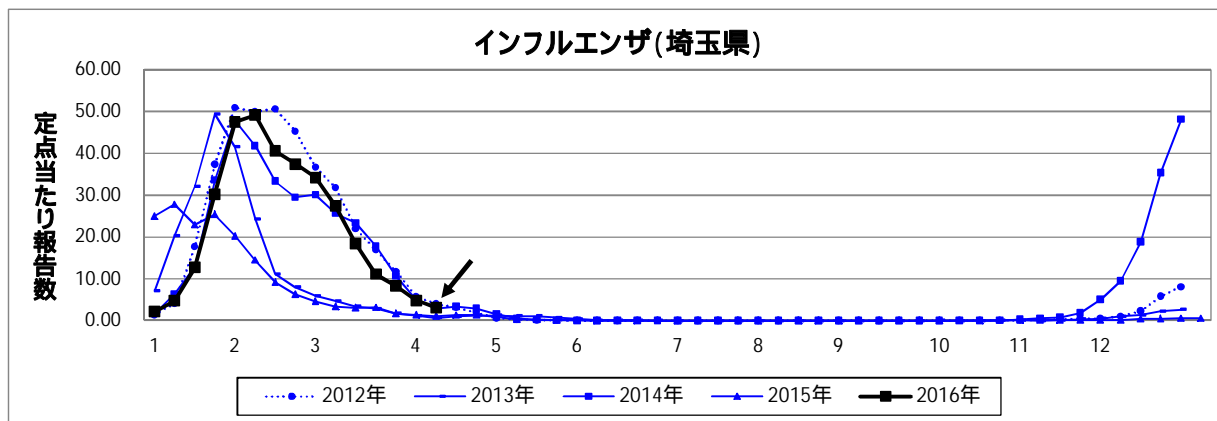


図 3 インフルエンザ



インフルエンザウイルス検出状況

川口(10人)、越谷市(3人)、草加(2人)、狭山(2人)、東松山(1人)、秩父(1人)、本庄(1人)、加須(1人)、幸手(1人)保健所管内で採取された検体から、今週新たに AH1pdm09 が 3件、A 香港が 1件、B 型が 18件検出された。9月(36週)以降の検出は、AH1pdm09 が 127件、A 香港が 13件、B 型が 97件の計 237件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2015年36週から		年齢階級								計
		0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70歳以上	
AH1pdm09	今週検出分	-	-	1	2	-	-	-	-	3
	累積	77 (4)	7 (1)	2 (1)	13 (2)	12 (1)	6 (1)	6 (0)	4 (0)	127 (10)
AH3(A香港)	今週検出分	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	累積	6 (0)	6 (1)	-	-	-	-	-	1 (0)	13 (1)
B型	今週検出分	9	1	5	-	2	-	1	-	18
	累積	47 (11)	23 (1)	9 (5)	4 (0)	5 (2)	2 (0)	4 (3)	3 (0)	97 (22)

() : 4月以降に採取された検体からの検出数を再掲

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第15週)

(2016年4月19日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		7			
四類感染症					
E型肝炎		8	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	18
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	15	侵襲性肺炎球菌感染症	1	36
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*		2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		7	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	20	梅毒	1	35
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	麻しん		1
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	2	1		

累計は診断日で集計
*結核は月単位で集計、別に掲載しま
す。

結核届出状況(3月分)

3月の届出数は、患者72人、無症状病原体保有者29人の計101人で、前月の115人より減少し、前年同月の118人より少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年3月～2016年3月)

	2015年*											2016年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計**	
総計	118	96	99	134	116	124	99	111	80	116	127	115	101	343	
年齢階級															
10歳未満	3	5	1	2	6	0	1	3	1	7	2	2	1	5	
10歳代	2	2	3	4	1	10	0	1	0	1	1	5	0	6	
20歳代	9	5	11	15	9	6	10	13	4	8	3	12	8	23	
30歳代	12	11	5	14	11	9	9	11	5	16	7	8	7	22	
40歳代	12	18	9	19	11	15	11	8	11	6	13	22	15	50	
50歳代	10	5	6	8	10	23	11	9	13	13	14	8	5	27	
60歳代	22	17	21	13	17	13	21	16	13	16	25	16	15	56	
70歳代	29	11	20	26	26	17	23	18	15	27	32	16	25	73	
80歳以上	19	22	23	33	25	31	13	32	18	22	30	26	25	81	
性															
男	76	52	60	84	68	68	64	73	43	61	70	71	63	204	
女	42	44	39	50	48	56	35	38	37	55	57	44	38	139	
類型															
患者	82	63	76	98	81	85	57	85	63	83	68	77	72	217	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
疑似症患者	0	2	3	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	
無症状病原体保有者	36	31	20	34	34	39	39	26	17	33	56	38	29	123	
病型															
肺結核	53	41	55	74	65	66	44	63	48	55	42	58	51	151	
肺結核及びその他の結核	4	9	5	3	2	3	3	7	4	5	6	7	7	20	
その他の結核	25	13	16	21	14	16	11	15	11	23	21	12	14	47	
疑似症患者	0	2	3	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	
無症状病原体保有者	36	31	20	34	34	39	39	26	17	33	56	38	29	123	

*:2015年の届出数は暫定値

** :2016年1月からの累積届出数

3月に診断された101人を病型別にみると、肺結核では10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から届出があり、70歳代及び80歳以上の各15人が最も多く、無症状病原体保有者では10歳代を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年3月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結 核	疑似症患者	無症状病原 体保有者	
総計	51	7	14	0	29	101
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	1	1	2	0	4	8
30歳代	5	0	0	0	2	7
40歳代	6	1	4	0	4	15
50歳代	2	1	0	0	2	5
60歳代	7	2	2	0	4	15
70歳代	15	1	2	0	7	25
80歳以上	15	1	4	0	5	25

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数										保健所別										平成28年4月11日～平成28年4月17日																
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)	川	朝霞	鴻巣	東松山	秩父	本庄	熊谷	加須	春日部	幸手	坂戸	草加	狭山	川越市	越谷市	さいたま市										
全	779	11	43	354	694	58	5	33	90	2	4	132	1	14	-	-	-	4	-	4	5	3.09	0.07	0.27	2.21	4.34	0.36	0.03	0.21	0.56	0.01	0.03	0.83	0.02	0.34	-	-	0.40	-	0.40	0.50						
川	64	-	3	34	92	2	-	3	5	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.56	-	0.19	2.13	5.75	0.13	-	0.19	0.31	-	-	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
朝霞	71	-	2	25	83	6	-	1	13	-	2	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3.38	-	0.14	1.79	5.93	0.43	-	0.07	0.93	-	0.14	0.43	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
鴻巣	133	2	7	35	47	11	-	3	7	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00	0.17	0.58	2.92	3.92	0.92	-	0.25	0.58	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
東松山	34	-	-	19	30	2	-	4	4	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4.25	-	-	3.80	6.00	0.40	-	0.80	0.80	-	1.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
秩父	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
本庄	12	-	-	5	5	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.71	-	-	1.25	1.25	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊谷	42	-	1	36	59	3	-	-	4	-	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3.00	-	0.11	4.00	6.56	0.33	-	0.44	0.44	-	0.11	0.44	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加須	27	-	1	-	4	1	1	-	6	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.70	-	0.17	-	0.67	0.17	0.17	-	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
春日部	19	-	5	9	15	5	-	-	4	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.11	-	1.00	1.80	3.00	1.00	-	0.80	-	-	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
幸手	27	1	-	10	23	3	-	-	3	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1.93	0.11	-	1.11	2.56	0.33	-	0.33	-	-	1.78	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
坂戸	13	-	1	8	24	3	-	1	2	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.30	-	0.17	1.33	4.00	0.50	-	0.17	0.33	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草加	61	3	7	32	42	4	1	4	8	1	-	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3.59	0.27	0.64	2.91	3.82	0.36	0.09	0.36	0.73	0.09	-	1.91	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
狭山	79	1	8	33	73	4	3	8	9	-	-	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3.04	0.06	0.47	1.94	4.29	0.24	0.18	0.47	0.53	-	0.41	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川越市	25	1	1	30	49	3	-	2	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.92	0.13	0.13	3.75	6.13	0.38	-	0.25	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越谷市	71	-	5	17	9	-	-	1	3	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.46	-	0.63	2.13	1.13	-	0.13	0.38	0.13	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
さいたま市	99	3	2	60	138	10	-	6	14	-	1	29	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2.41	0.11	0.07	2.22	5.11	0.37	-	0.22	0.52	-	1.07	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第15週 平成28年4月11日～平成28年4月17日)

	合計		-6ヵ月		12ヵ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10-14歳		15-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上								
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上																																	
インフルエンザ #1	779	5	10	41	31	47	48	33	52	52	28	28	81	37	49	78	66	49	27	9	8																												
RSウイルス感染症	11	1	2	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	43	-	2	13	9	6	4	2	1	2	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	354	-	1	7	25	39	50	43	49	46	31	18	32	1	12																																		
感染性胃腸炎	694	4	51	117	70	64	67	45	46	40	37	24	51	13	65																																		
水痘	58	-	2	5	4	6	7	9	10	6	3	2	4	-	-																																		
手足口病	5	-	1	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-																																		
伝染性紅斑	33	-	-	5	1	-	4	7	3	2	-	6	5	-	-																																		
突発性発しん	90	3	26	52	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-																																		
百日咳	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1																																		
ヘルパンギーナ	4	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-																																		
流行性耳下腺炎	132	-	-	6	5	17	13	17	9	20	16	5	21	1	2																																		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																		
流行性角結膜炎	14	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	5																																		
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上																																
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	4	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1																																		
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																		
(入院)インフルエンザ	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1																																		

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 13 週

(3月28日～4月3日)

平成28年4月20日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(23.34)、新潟県(23.20)、高知県(20.33)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は482例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(20例)、1～9歳(124例)、10代(30例)、20代(8例)、30代(14例)、40代(14例)、50代(24例)、60代(38例)、70代(77例)、80歳以上(133例)であった。

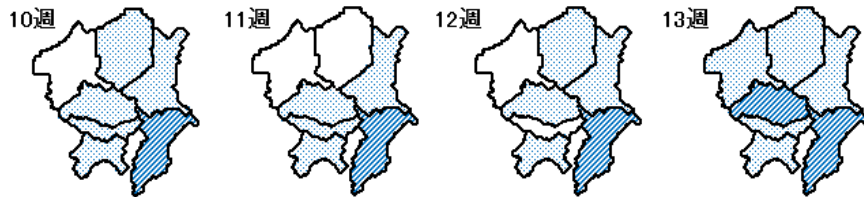
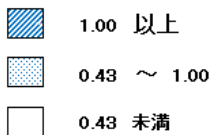
RSウイルス感染症の報告数は573例と第2週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.96)、鳥取県(0.74)、佐賀県(0.61)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.00)、北海道(4.09)、岩手県(3.68)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(11.78)、島根県(10.70)、宮崎県(10.31)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(1.08)、新潟県(0.88)、鹿児島県(0.69)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.19)、鳥取県(0.16)、熊本県(0.10)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.60)、山形県(1.23)、鳥取県(1.16)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.83)、奈良県(2.74)、山形県(2.50)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岐阜県(1.80)、富山県(1.40)、沖縄県(1.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。40都道府県から321例報告があり、年齢別では0歳(29例)、1～4歳(212例)、5～9歳(62例)、10代(6例)、20代(1例)、30代(2例)、50代(3例)、70歳以上(6例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、千葉県(1.13)、埼玉県(1.01)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成28年 13週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	55,341	11,349	860	552	721	2,069	1,756	3,087	2,304
	定点当たり	11.20	7.55	7.17	7.26	7.59	8.28	8.24	7.46	6.88
RSウイルス感染症	報告数	573	50	3	2	1	6	8	13	17
	定点当たり	0.18	0.05	0.04	0.04	0.02	0.04	0.06	0.05	0.08
咽頭結膜熱	報告数	707	131	11	2	16	20	18	34	30
	定点当たり	0.22	0.14	0.15	0.04	0.28	0.13	0.13	0.13	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,214	1,845	109	83	138	340	340	506	329
	定点当たり	1.97	1.95	1.45	1.73	2.38	2.15	2.54	1.95	1.56
感染性胃腸炎	報告数	17,386	4,290	345	77	258	660	620	1,329	1,001
	定点当たり	5.51	4.54	4.60	1.60	4.45	4.18	4.63	5.11	4.74
水痘	報告数	1,163	370	11	12	29	95	43	92	88
	定点当たり	0.37	0.39	0.15	0.25	0.50	0.60	0.32	0.35	0.42
手足口病	報告数	61	20	3	-	2	6	-	6	3
	定点当たり	0.02	0.02	0.04	-	0.03	0.04	-	0.02	0.01
伝染性紅斑	報告数	1,041	218	15	20	28	42	55	29	29
	定点当たり	0.33	0.23	0.20	0.42	0.48	0.27	0.41	0.11	0.14
突発性発しん	報告数	1,256	413	25	31	20	90	50	107	90
	定点当たり	0.40	0.44	0.33	0.65	0.34	0.57	0.37	0.41	0.43
百日咳	報告数	44	15	2	2	4	1	-	5	1
	定点当たり	0.01	0.02	0.03	0.04	0.07	0.01	-	0.02	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	36	4	1	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.01	-	0.01	-	-	0.01	0.01	0.00	-
流行性耳下腺炎	報告数	2,827	673	71	22	27	159	151	112	131
	定点当たり	0.90	0.71	0.95	0.46	0.47	1.01	1.13	0.43	0.62
急性出血性結膜炎	報告数	9	2	-	1	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.08	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	352	134	7	4	12	13	19	14	65
	定点当たり	0.51	0.66	0.41	0.33	0.86	0.33	0.56	0.36	1.35
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	4	-	-	-	-	4	-	-
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	-	0.44	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	190	27	3	2	5	7	-	10	-
	定点当たり	0.40	0.33	0.23	0.29	0.63	0.70	-	0.40	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	6	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.10	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	321	12	2	-	4	2	1	1	2
	定点当たり	0.68	0.15	0.15	-	0.50	0.20	0.11	0.04	0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第15週

感染症発生動向調査 2016年

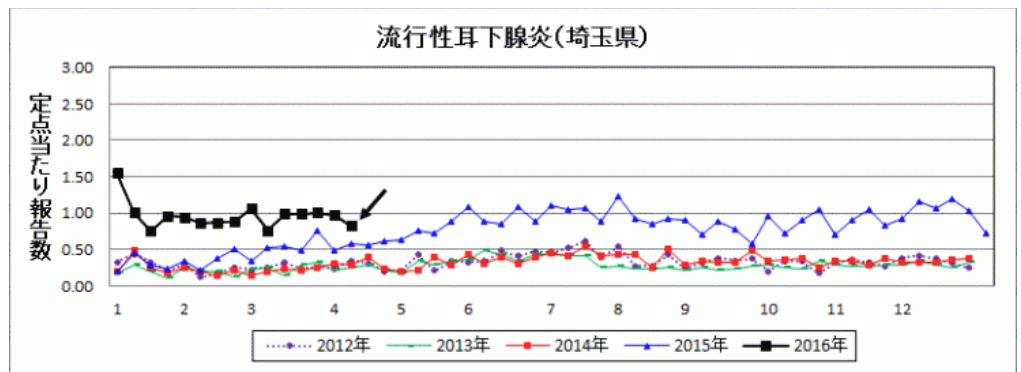
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)

感染症の流行状況 2016年 第15週

2016年第15週（平成28年4月11日～4月17日）の要点 平成28年4月20日

[流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）](#)の定点当たり報告数は前週より減少しましたが、前年までの同時期と比較し、多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- ・ [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- ・ [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- ・ [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	↑	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	↓	★★
水痘（みずぼうそう）	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン